

# 平成 25 年度 事業計画書

期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

## 平成 25 年度 社会福祉法人魚野福祉会 事業計画書

### 1. 法人経営の原則の遵守

社会福祉法人魚野福祉会は、法人定款第3条の規定に則り、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

### 2. 基本理念

優しさと思いやり

### 3. 基本方針

- (1) 何が入居者にとって幸せかを考える
- (2) 優しいケアは言葉づかいからスタートする
- (3) 家族の意向を尊重する
- (4) 情報開示は進歩の第一歩とする
- (5) 記録は簡潔に要点を大切にす
- (6) 経営を無視して理想に走り過ぎないようにする
- (7) 諸制度改正による新しい福祉理念のもと意識改革を進めるとともに、専門的援助技術の向上を目指し、日々修練に努める。

### 4. 平成 25 年度重点目標

- (1) 安定的な事業運営
  - 1) 無駄のないサービス利用と安定的な稼働率の確保に努める。
  - 2) 特別養護老人ホームうおの園の増床の計画について具体的に検討をする。
  - 3) 人材の確保に努める。
  - 4) 透明な施設運営に努める。
  - 5) 施設設備の保守、点検に努める。
- (2) 高品質なサービスの提供
  - 1) 内部評価、委員会及び係等の活動を行い、提供しているサービス内容の見直しや改善を行いサービスの質の向上につなげる。
  - 2) 利用者の重度化にともなう医療・看護ニーズや認知症を伴う利用者の自立支援ニーズに適切な対応ができるよう、専門職の連携強化とサービスの仕組みづくり、教育に取り組む。
- (3) 危機管理体制の強化
  - 1) 災害時の地域互助協力体制の構築していく。

2) ひやりはつとを共有しリスクを確認していく。

(4) 人材育成の強化

1) 研修への意欲的参加と内容を共有化し、計画的・継続的な職員育成を図る。

2) 共通目標をもち活動するなかでの職員育成を図る。

3) 老人福祉に関わる職員として、必要となるマナーや知識や技術を役付職員及び一般職員が共に学び、高めていき、全体のスキルの向上を図る。

4) 面接を行い、上司や部下および職種間、事業所内の相互理解し、意志の疎通を図る。

5. 行事・研修予定

理事会 (5月11月1月3月)

評議員会 (5月11月1月3月)

監事監査 (5月)

6. 経営する社会福祉事業及び事業

(1) 第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームの経営 (うおの園)

軽費老人ホームの経営 (やまなみ)

(2) 第二種社会福祉事業

老人短期入所事業の経営 (うおの園)

7. 役員及び評議員 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	本田 建一		評議員	大淵 新司	
理事	若林 新一	評議員兼務	評議員	星野 友正	
理事	星 一三	評議員兼務	評議員	山田 ヒロ子	
理事	井口 勝士	評議員兼務	評議員	久川 益次郎	
理事	桐生 克己	評議員兼務	評議員	星 金二	
理事	山之内 宏	評議員兼務	評議員	桐生 豊美	
理事	浅井 嘉代子	評議員兼務	評議員	八木 鉄男	
理事	草野 功	施設長	評議員	青山 裕一	
			評議員	渡辺 泰子	
監事	横山 雄次		評議員	佐藤 隆	
監事	高橋 威		評議員	小林 昭雄	

8. 職員配置状況（平成 25 年 4 月 1 日現在）

職種	法人本部		うおの園		やまなみ		計	備考
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
施設長	0	0	1	0	(1)	0	1	(うおの園・やまなみ兼務)
医師	0	0	0	(1)	0	(1)	0	
生活相談員	3	0	3	0	1	0	7	社会福祉士 1 名
機能訓練指導員	0	0	1	1	1	0	3	言語聴覚士 1 名 准看護師 1 名 魚野会から出向 1 名(あん摩マッサージ師 1 名)
栄養士	1	0	1	0	1	0	3	管理栄養士 3 名
看護	7	0	4	2	1	0	14	看護師 8 名 准看護師 3 名 魚野会から出向 3 名(看護師 2 名准看護師 1 名)
介護	0	0	34	12	3	6	55	介護福祉士 27 名
介護支援専門員	0	0	(5)	0	(1)	0	0	(生活相談員 3 名 介護 3 名)
総務	3	0	4	0	1	0	8	北里大学保健衛生専門学院へ修学 3 名
管理運転	0	0	2	2	0	0	4	
計	14	0	50	17	8	6	95	( ) 内は兼務または嘱託

男性 34 名 女性 61 名 平均年齢 42.14 歳

9. 組織体制

役職/役付	本部	うおの園	やまなみ
施設長	—	草野功	草野功
業務課長	—	貝瀬正幸	—
生活相談係長	—	佐藤房子	—
支援係長	—	浅野百合恵	—
長期入所係長	—	桜井明美	—
短期入所係長	—	佐藤知子	—
業務係長	—	—	星野輝
総務係長	—	乾和也	—
介護主任	—	勝又富美枝	—
介護主任	—	遠藤奈緒美	—
介護主任	—	樋口泰範	—
介護主任	—	小川真有子	—
ケアマネ主任	—	水野直子	—
業務主任	—	—	上村美代子
栄養リーダー	—	本田恵理	—
機能訓練リーダー	—	—	松井千恵子
介護ユニットリーダー	—	五十嵐秀子	—
介護ユニットリーダー	—	氏原航	—
介護ユニットリーダー	—	高橋小百合	—
介護リーダー	—	—	佐藤愛子
管理運転リーダー	—	大桃俊彦	—
第三者委員	八木鉄男	—	—
第三者委員	大塩康幸	—	—
会計責任者	草野功	草野功	草野功
出納責任者	乾和也	乾和也	市田早苗
文書取扱責任者	乾和也	乾和也	乾和也
文書担当者	市田早苗	市田早苗	今井由紀子
物品管理者	乾和也	市田早苗	今井由紀子
個人情報統括責任者	草野功	草野功	草野功
個人情報管理責任者	乾和也	貝瀬正幸	星野輝
防火管理者	—	草野功	草野功
看取り介護責任者	—	浅野百合恵	—
褥瘡予防担当者	—	計良正祥	小沼奈緒美
感染対策担当者	—	計良正祥	上村美代子

役職/役付	本部	うおの園	やまなみ
安全対策担当者	—	遠藤奈緒美	佐藤愛子
医療ガス監督責任者	—	貝瀬正幸	—
医療ガス実施責任者	—	岡谷酸素	—
苦情処理責任者	草野功	草野功	草野功
苦情処理担当者	草野功	佐藤房子	山森直美
身体拘束廃止担当者	—	浅野百合恵	上村美代子
安全運転管理者	草野功	—	—
公正採用選考人啓発推進委員	草野功	—	—

## 平成 25 年度 特別養護老人ホームうおの園 事業計画書

## 1. 施設が管理する事業

種別	指定番号	有効期限	指定年月日
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 定員 70 名	1572300273	H28. 3. 31	H16. 4. 1
(介護予防) 短期入所生活介護 (老人短期入所事業) 定員 16 名	1572300158	H28. 3. 31	H16. 4. 1

## 2. 会議・委員会

## (1) 目的

利用者の方々に、安全で安心され満足していただけるサービスを提供することを目指し、業務の改善・向上を会議・委員会により検討を進め、それぞれの会議・委員会において、発言の活発化を図り、責任と権限を持って業務の改善を図ることを目的とする。

## (2) 運営の方法

- 1) 問題点の把握や計画性をもって検討会議を開催する。
- 2) 他会議・委員会との関連事項については、横の連絡を図る等して解決していく。
- 3) 会議・委員会の討議内容を記録にとり、検討し業務の向上を図る。
- 4) 自らが問題を見つけ、また他の職員等より意見や問題を聞きだし、解決していく。
- 5) 会議・委員会の状況について議事録で報告する。

## (3) 役割

- 1) 施設運営会議 (毎月第 1 水曜日 10:00~)
  - ・理事会及び理事長の方針を受け、施設運営に関する意思決定。
  - ・施設の問題や意見などの抽出、検討。
- 2) 業務連携会議 (毎月第 3 水曜日 10:00~)
  - ・各種会議委員会の連絡調整。
  - ・職種間の連携の調整。
  - ・業務における問題や意見などの抽出、検討。
- 3) ユニット会議 (毎月 1 回)
  - ・ユニットにおける問題や意見などの抽出、検討。
- 4) リーダー会議 (毎月第 3 水曜日 16:30~)
  - ・リーダー間による連絡調整。
- 5) 入所検討委員会 (3 か月に 1 回 必要時)
  - ・入所順位の決定。
- 6) 安全衛生委員会 (毎月第 3 水曜日)
  - ・労働基準法に基づく委員会

- ・労働環境等においての問題や意見などの抽出、検討。
- 7) 栄養会議 (6.9.12.3月 第3水曜日)
  - ・給食計画、調理室の保健衛生、給食の調査及び改善の検討。
- 8) 感染対策委員会 (奇数月 第3水曜日 16:30~)
  - ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための検討。
  - ・マニュアル及び指針の見直し。
- 9) 安全対策委員会 (毎月 第1金曜日 10:00~)
  - ・ヒヤリハット及び事故防止の検討及び対策の検討。
  - ・マニュアル及び指針の見直し。
- 10) 褥瘡対策委員会 (偶数月 第2水曜日 16:30~)
  - ・褥瘡の現状を把握し検討及び対策の検討。
  - ・マニュアル及び指針の見直し。
- 11) ケアプラン委員会 (4.7.10.1月 第1金曜日 16:30~)
  - ・ケアプランに関する検討
- 12) 防災委員会 (必要時)
  - ・消防計画の見直し。
  - ・消防訓練の計画及び実施。
- 13) 医療ガス安全管理委員会 (年1回)
  - ・医療ガス設備の安全管理及び利用者の安全の確保のための検討。
- 14) 行事委員会 (毎月 第4火曜日 16:30~)
  - ・施設行事の検討及び実施。
- 15) 広報委員会 (毎月 第4金曜日 16:30~)
  - ・広報誌及びホームページの作成。
- 16) 身体拘束廃止委員会 (奇数月 第2月曜日 16:30~)
  - ・抑制や拘束の現状を把握及び対策の検討。
  - ・マニュアルの見直し
- 17) 接遇・研修委員会 (4.7.10.1月 第2水曜日 16:30~)
  - ・職員接遇に関する検討。
  - ・職員研修の企画運営。
- 18) 苦情処理委員会 (必要時)
  - ・苦情の原因の分析及び対策の検討。
  - ・苦情の相談及び解決。
- 19) 吸引等安全対策委員会 (3ヶ月に1回)
  - ・マニュアルの見直し。
  - ・問題や意見などの抽出、検討。
- 20) 排泄係、移動係、食事係、入浴係、口腔ケア係 (必要時)
  - ・マニュアルの見直し。
  - ・問題や意見などの抽出、検討。

21) システム委員会（必要時）

- ・システム運用の調整及び実施。
- ・システム運用についての問題や意見などの抽出、検討。

3. 平成 25 年度個別目標

(1) 介護

こぶし

- 1) 入居者に対し、統一した対応ができるように情報の共有を行い、まとまりのあるユニットにする。
- 2) 入居者個々にあった生活が送れるユニットにする。
- 3) 職員同士のチームワークの向上、職員間も含めた言葉づかいを改めて見直していく。

ききょう

- 1) 入居者、面会者、職員間の挨拶を励行し、気持のよいユニットにする。
- 2) 入居者の目線で会話をし、思いやりを持った声かけを行うことで、雰囲気の良いユニットにする。
- 3) 他職種との連携、協力を図り、報告・連絡・相談を励行し、入居者及び家族のニーズに対応する。

ぶな

- 1) 優しさ、思いやりを忘れず毎日接する。
- 2) 事故なく入居者の望む安楽な生活を支援する。

しゃくなげ

- 1) 思いやりを持ってケアをしていく。優しい言葉ケアを忘れない。
- 2) 家族の意見、意向を大切にする。
- 3) 入居者一人一人のリスクを把握し、事故のないようケアしていく。
- 4) 入居者の自立支援ニーズに適切な対応ができるよう他職種との連携を大切にする。
- 5) 行っているサービスの見直し、改善をし、サービスの質を高める。

八海山

- 1) 職員本位のケアにならないよう、入居者個々の好みやペースに寄り添うようなケアに努める。
- 2) 優しい言葉使いと態度に気を付け心地よいユニットを作る。
- 3) 職員のチームワークの強化
- 4) 家族の方が来やすい、話しやすいユニットにする。

駒ヶ岳

- 1) 業務優先にならず、入居者と同じ時間を共有し、望んでいる想いを感じ取り寄り添うケアに努める。
- 2) 言葉づかい、表情に気を付けお互い気持よく穏やかに過ごせるよう心掛ける。
- 3) 個々の生活習慣や好みを知り、快適で居心地よく安心した生活が送れるよう



な居場所作りに努める。

- 4) 職員間の情報伝達を行い、助け合い、無理はしない。

#### 中之岳

- 1) あいさつ、声かけ、言葉づかいに気を付ける。
- 2) 個別性を重視し、サービスの質の向上に努める。
- 3) 情報を共有し、提供するサービスの標準化に努める。

#### (2) 看護

- 1) 入居者の幸せを考え、笑顔になる優しい声かけをする。
- 2) 本人、家族の医療、看護のニーズに対する意向を尊重する。
- 3) ニーズに適切に対応できるよう、職種間の連携強化する。
- 4) 高品質なサービスが提供できるよう職員の教育に取り組む。

#### (3) 生活相談

- 1) 定員確保に努める。長期入院などの空きベッドの活用について同意を得たうえで有効に活用する。
- 2) 各機関との連携、調整がスムーズにいくように努める。
- 3) 相談、援助技術を高め、コミュニケーションの充実に努める。
- 4) 相談員として入居者、家族及び関係各所から信頼を得られる対応を心掛け、施設のイメージ向上に努める。
- 5) 他職種と連携、情報共有を図り、サービスの質の向上に努める。

#### (4) 機能訓練

- 1) 入居者にとって楽しむ生活となる余暇活動の充実に努める。

#### (5) 栄養

- 1) 入居者が1日でも長く口から安全に食べられる嚥下食作りに他職種連携で努める。
- 2) 入居者の希望や要望、季節感を取り入れ家庭的な雰囲気味わえる食事を提供する。
- 3) 入居者個々の身体状況や栄養状態を反映させた計画書に基づき、入居者が健康に過ごせる食事を提供する。

#### (6) 総務

##### 総務

- 1) 入退居や面会、電話連絡等の窓口として、入居者、面会者に不便がないよう、情報の共有を図り、対応できるようにする。
- 2) 他職種との連携を深めるために、伝達研修等に参加し、基礎知識を深める。
- 3) 支援システムの導入や福祉会計改定がスムーズに移行できるように努める。
- 4) 職員がスムーズに仕事ができるように補佐する。

##### 管理運転

- 1) ホスピタル精神に心掛け、日々の送迎にあたる。
- 2) 送迎車の4S（整理・整頓・清潔・清掃）及び備品の整備もサービスのひとつと

考え充実させる。

3) 災害時を想定した、施設関連設備、備品類の管理の明確化

4) 施設管理、送迎に関する安全管理に努める。

#### 4. 行事・研修予定

年間事業計画のとおり

#### 5. 施設・設備整備

- (1) 建物の設備の点検、修繕（随時）
- (2) 空調設備（冷温水発生機）の修繕
- (3) 増床に伴う設計業者、建築業者の選定・発注
- (4) 食器等の消耗品の購入
- (5) 介護備品の購入
- (6) 備品の点検、修繕（随時）

## 平成 25 年度 ケアハウスやまなみ 事業計画

### 1. 施設が管理する事業

種別		指定番号	有効期限	指定年月日
軽費老人ホーム (ケアハウス)	定員 30名	—	—	H20. 4. 1
(介護予防) 特定入居者生活介護		1572300612	H26. 3. 31	H20. 4. 1

### 2. 会議・委員会

#### (1) 目的

利用者の方々に、安全で安心され満足していただけるサービスを提供することを目指し、業務の改善・向上を会議・委員会により検討を進め、それぞれの会議・委員会において、発言の活発化を図り、責任と権限を持って業務の改善を図ることを目的とする。

#### (2) 運営の方法

- 1) 問題点の把握や計画性をもって検討会議を開催する。
- 2) 他会議・委員会との関連事項については、横の連絡を図る等して解決していく。
- 3) 会議・委員会の討議内容を記録にとり、検討し業務の向上を図る。
- 4) 自らが問題を見つけ、また他の職員等より意見や問題を聞きだし、解決していく。
- 5) 会議・委員会の状況について議事録で報告する。

#### (3) 役割

- 1) 施設運営会議（毎月第1水曜日 10：00～）
  - ・理事会及び理事長の方針を受け、施設運営に関する意思決定。
  - ・施設の問題や意見などの抽出、検討。
- 2) 業務連携会議（毎月第3水曜日）
  - ・各種会議委員会の連絡調整。
  - ・職種間の連携の調整。
  - ・業務における問題や意見などの抽出、検討。
- 3) 入所判定委員会（必要時）
  - ・入所順位の決定。
- 4) 安全衛生委員会（毎月第3水曜日）
  - ・労働基準法に基づく委員会
  - ・労働環境等においての問題や意見などの抽出、検討。
- 5) 栄養会議（6.9.12.3月 第3水曜日）
  - ・給食計画、調理室の保健衛生、給食の調査及び改善の検討。
- 6) 感染対策委員会（奇数月 第3水曜日 16：30～）

- ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための検討。
- ・マニュアル及び指針の見直し。
- 7) 安全対策委員会（毎月 第1金曜日 10:00～）
  - ・ヒヤリハット及び事故防止の検討及び対策の検討。
  - ・マニュアル及び指針の見直し。
- 8) 褥瘡対策委員会（偶数月 第2水曜日 16:30～）
  - ・褥瘡の現状を把握し検討及び対策の検討。
  - ・マニュアル及び指針の見直し。
- 9) ケアプラン委員会（4.7.10.1月 第1金曜日 16:30～）
  - ・ケアプランに関する検討
- 10) 防災委員会（必要時）
  - ・消防計画の見直し。
  - ・消防訓練の計画及び実施。
- 11) 行事委員会（毎月 第4火曜日 16:30～）
  - ・施設行事の検討及び実施。
- 12) 広報委員会（毎月 第4金曜日 16:30～）
  - ・広報誌及びホームページの作成。
- 13) 身体拘束廃止委員会（奇数月 第2月曜日 16:30～）
  - ・抑制や拘束の現状を把握及び対策の検討。
  - ・マニュアルの見直し
- 14) 接遇・研修委員会（4.7.10.1月 第2水曜日 16:30～）
  - ・職員接遇に関する検討。
  - ・職員研修の企画運営。
- 15) 苦情処理委員会（必要時）
  - ・苦情の原因の分析及び対策の検討。
  - ・苦情の相談及び解決。

### 3. 平成25年度個別目標

#### (1) 介護

- 1) 入居者の立場になり、自分自身も受けてみたいと思えるケアを心掛ける。
- 2) 他職種との連携を強化し、入居者の状態や情報の共有化に努める。
- 3) 入居者、家族とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築く。
- 4) 言葉づかいに気をつける。
- 5) 危険予測し、事故防止に努める。

#### (2) 看護

- 1) バイタルチェックを適宜行い、健康状態の把握に努める。
- 2) 定期的に協力医療機関への情報提供に努める。
- 3) 定期健康診断、予防注射の励行、援助。
- 4) 入居者とのコミュニケーションをとり、身体・精神不安の安定をはかる。

5) 入居者が安全・安楽に過ごせるよう、職種間の連携をはかる。

(3) 生活相談

- 1) 家族との連携を密にする。
- 2) 入居者の訴えを聞く。
- 3) 説明はわかりやすく丁寧に。

(4) 機能訓練

- 1) 個々のニーズに合った対応を心掛ける。
- 2) 季節に応じた行事、レクリエーションを提供できるよう努める。
- 3) 野菜など育てていく過程を楽しみにして頂きながら、収穫の喜びを味わう。
- 4) 集団とのかかわりの中で、入居者との仲立ちとなりトラブルのもとを作らないようにする。
- 5) 日々の安全面に気を付け、笑顔のある機能訓練の時間とする。

(5) 栄養

- 1) 日常の食事は多数の嗜好を重視し、行事食には少数の要望も取り入れ、入居者が広く満足のできる食事作りを目指す。
- 2) 入居者のレベルの変化に応じた食事へのニーズに適切に対応できるように努める。
- 3) 災害時に迅速な対応がとれるよう、日頃から計画的に訓練を行う。

(6) 総務

- 1) 他職種との連携に努める。
- 2) 事務所内、窓口の整理整頓に努める。

**5. 行事・研修**

年間事業計画のとおり

**6. 施設・設備整備**

- (1) 建物の設備の点検、修繕（随時）
- (2) 備品の点検、修繕（随時）

平成25年度 年間事業計画

月	うおの園	やまなみ	内部研修	外部研修
4月	誕生会 演奏会	誕生会 歌・踊り おやつ作り  世界の料理	事故予防研修 (安全対策委員会)	適宜、施設長が必要と認めた研修会に参加する。
5月	誕生会 端午の節句	誕生会 バスハイク ちまき作り  郷土料理	褥瘡予防研修 (褥瘡対策委員会)	
6月	誕生会 合唱団 (歌会)	誕生会 歌・踊り おやつ作り イチゴの収穫  野外食	感染予防研修 (感染対策委員会)	
7月	誕生会 七夕会	誕生会 七夕会 歌・踊り おやつ作り  赤ちょうちん	認知症研修 (接遇・研修委員会)	
8月	誕生会 夏祭り 和太鼓演奏	誕生会 夏祭り スイカ割り じゃがいも掘り 枝豆の収穫  お盆料理		
9月	誕生会 敬老会 歌手慰問 芋掘り	誕生会 敬老会 紅白饅頭作り ブドウの収穫 さつまいも掘り  敬老のお祝い弁当 お彼岸おはぎ	事故予防研修 (安全対策委員会)	

月	うおの園	やまなみ	内部研修	外部研修
10月	誕生会 運動会	誕生会 バスハイク さつま芋茶巾しぼり  収穫祭献立	看取り研修 (接遇・研修委員会)	適宜、施設長が必要と認めた研修会に参加する。
11月	誕生会 演芸会 動物ふれあい	誕生会 ミニ運動会 作品展 大根掘り  鍋パーティー	感染予防研修 (感染対策委員会)	
12月	誕生会 クリスマス会	誕生会 歌・踊り クリスマス会  クリスマス献立	褥瘡予防研修 (褥瘡対策委員会)	
1月	誕生会 新年会	誕生会 新年かるた大会 あんまん作り  寿司バイキング		
2月	誕生会 節分	誕生会 節分豆まき  節分料理	ユニット発表 2階	
3月	誕生会 ひな祭り会	誕生会 お雛様を楽しむ会 おやつ作り  ひな祭り献立 お彼岸ぼたもち	ユニット発表 3階	

※職員採用時に新任研修を行う

※適宜外部研修の伝達研修等を行う（第4木曜日17：00～）